

PRESS RELEASE

第17回「平塚らいてう賞」受賞者を決定

計14件の応募より3件（顕彰1件、奨励1件、特別1件）を選出

学校法人日本女子大学（東京都文京区、理事長：今市涼子）は、本日11月1日（水）、研究者・学生の顕彰・奨励を目的とした第17回「平塚らいてう賞」の受賞者を決定いたしました。本年は、顕彰7件と奨励7件の応募があり、厳正な審査の結果、顕彰1件、奨励1件、特別1件を選出いたしました。

■受賞者

[顕彰] 三浦まり氏（上智大学法学部教授）

研究テーマ：「女性の政治参画に関する包括的研究：『男性政治』を打ち破る」

[奨励] 山中仁吉氏（北海道大学大学院法学研究科法学政治学専攻博士課程）

研究テーマ：「平塚らいてうの秩序構想—大正・昭和期を中心に—」

[特別] 海老原志穂氏（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所フェロー）

研究テーマ：「チベット女性詩の翻訳・紹介とその発展に関する文学史的研究」

■篠原聡子選考委員長による総評

平塚らいてうは、日本の思想家、批評家・評論家、作家、フェミニスト、女性解放運動家であった。実に多才で、多面的な視野を持っている人である。らいてうは成人してから二つの世界大戦を経験し、第二次世界大戦後は主に反戦・平和運動に参加した。その足跡をたどれば、激動の時代に生きながら、常に社会を直視して、自分がなすべきことをひるまずになした人であった、と思う。今の時代にらいてうが生きていたなら、どんな行動をとっただろうか。

今回の平塚らいてう賞は、らいてうの多面的な活動のそれぞれの延長にあるような3名の方々の研究、活動に対して与えられることになった。この賞を通して、この3名の皆さまの研究、活動がより多くの方々の知るところとなり、混沌とした現在の社会に対する一筋の光になることを願っている。

PRESS RELEASE

■贈賞式

2023年12月9日（土）12:30 から、日本女子大学目白キャンパス新泉山館にて行います。
（資料1をご参照ください）

■選考委員（五十音順）

- 池上清子 〔公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン理事長〕
差波亜紀子 〔日本女子大学文学部史学科教授〕
篠原聡子 〔日本女子大学学長〕
高野晴代 〔一般社団法人日本女子大学教育文化振興桜楓会理事長、
日本女子大学名誉教授〕
永井暁子 〔日本女子大学現代女性キャリア研究所所長〕

その他、詳細につきましては「平塚らいてう賞」ホームページをご覧ください。

<https://www.jwu.ac.jp/st/grp/raiteu/>

■平塚らいてうについて

平塚らいてうは、1906（明治 39）年に日本女子大学校（現在の日本女子大学）を卒業し、卒業後に発刊した『青鞥』は、日本初の女性だけの手による女性のための文芸雑誌で、女性解放運動の原点となりました。創刊時の「元始、女性は実に太陽であった。」の書き出しは女性解放運動の宣言として知られています。思想家として平和を愛し、女性解放に一生を捧げた女性です。2021年に没後50年を迎えました。

日本女子大学は、日本初の組織的な女子高等教育機関として創立し、2021年に120周年を迎えました。私立女子大学唯一の理学部を有し、文理融合の教育環境をもつ女子総合大学です。幼稚園から大学院までの一貫教育、さらに卒業生以外にも門戸を開くりカレント教育など、誰もが生涯を通じて学び、成長し続ける社会を創るための機会を提供しています。多様で非連続に変化する社会において、新しい明日を共に創る人材を育てています。詳しくは、<https://www.jwu.ac.jp> をご覧ください。



学校法人 | 日本女子大学 法人企画部 広報課内 平塚らいてう賞事務局

〒112-8681 東京都文京区目白台 2-8-1 <https://www.jwu.ac.jp/>

Phone. 03-5981-3163 e-mail. raiteu@atlas.jwu.ac.jp

Facebook. @Official.JWU Instagram. @japan_womens_university Twitter. @JWU_official